



JAPAN EMF INFORMATION CENTER

第16回電磁界情報センター運営 委員会でのご意見への対応

電磁界情報センター

	前回いただいたご意見（概要）	対応結果
1	磁界測定貸出後のアンケートについて、回答者の年代層別の特徴等を教えてほしい。	本委員会で報告

磁界測定器貸出の申込理由（H27.4～H28.2月上旬貸出分146件）

	本人への健康影響等	家・土地の購入	電磁過敏症	妊婦・子ども	電磁波攻撃	その他	総計
女性	25	16	15	17	11	2	86
10代	1						1
20代	1			2			3
30代	10	13	4	6	2	2	37
40代	5	2	2	7	2		18
50代	8		3	1	3		15
60代			4	1	3		8
70代		1	1		1		3
80代以上			1				1
男性	28	25	9	3	4	2	71
10代	1						1
20代	1	3					4
30代	8	11					19
40代	5	5	4	1	2	1	18
50代	5	6	3	1			15
60代	6		2	1	2	1	12
70代	1						1
80代以上	1						1
総計	53	41	24	20	15	4	157

- ・ 自身への健康影響などが気になる方が約1/3。
- ・ 家・土地の購入をきっかけに、近くに電力設備があり気になり申込まれる方が多い。30代が最多。
- ・ 妊婦である・子供への影響を心配される方が、30-40代女性に多い。
- ・ 電磁過敏症である・電磁波攻撃されているという方は女性に多い。また、年齢に偏りはない。

申込者の科学的知識量 (H27.4~H28.2上旬貸出分)

Q3. 低周波の電磁波について、以下の情報は正しいと思いますか

	正しいと思う	間違っていると思う	どちらともいえない(未解明)	知らない・分からない	未記載
① (電磁波の健康影響は、周波数によって違う)	61.6%	3.4%	16.4%	15.1%	3.4%
② (家電製品や送電線から発生する電磁波の周波数は100kHzである)	1.4%	34.9%	8.2%	50.7%	4.8%
③ (電磁波とは、磁界と電界のいずれかをいう)	18.5%	42.5%	6.2%	27.4%	5.5%
④ (身近にある電界は健康に影響しないが、磁界は健康に影響する)	20.5%	25.3%	20.5%	30.1%	3.4%
⑤ (磁界に対する国際的なガイドライン値は200 μ Tである)	44.5%	5.5%	6.2%	40.4%	3.4%
⑥ (弱い値の電磁波でも、長期間あぶると“がん”になる)	27.4%	6.8%	47.3%	15.8%	2.7%
⑦ (電磁過敏症という症状は、発症原因が判明している)	13.0%	23.3%	30.8%	28.8%	4.1%
⑧ (磁界の大きさは、発生源から離れれば離れるほど小さくなる)	84.9%	1.4%	2.1%	8.9%	2.7%
⑨ (磁界の大きさは、発生源の電流が小さくなくても変わらない)	4.8%	56.8%	5.5%	30.1%	2.7%
⑩ (IARCによる磁界の発がん性分類は、2Bである)	43.5%	5.5%	9.6%	38.0%	3.4%

※色塗りセルが正解

JEICNEWS43号より

年代別・申込理由別の平均点（H27.4～H28.2上旬貸出分）

	平均点（10点満点）
10代	4.50
20代	5.43
30代	5.06
40代	4.34
50代	4.31
60代	4.94
70代	1.00
80代以上	2.00
総計	4.60

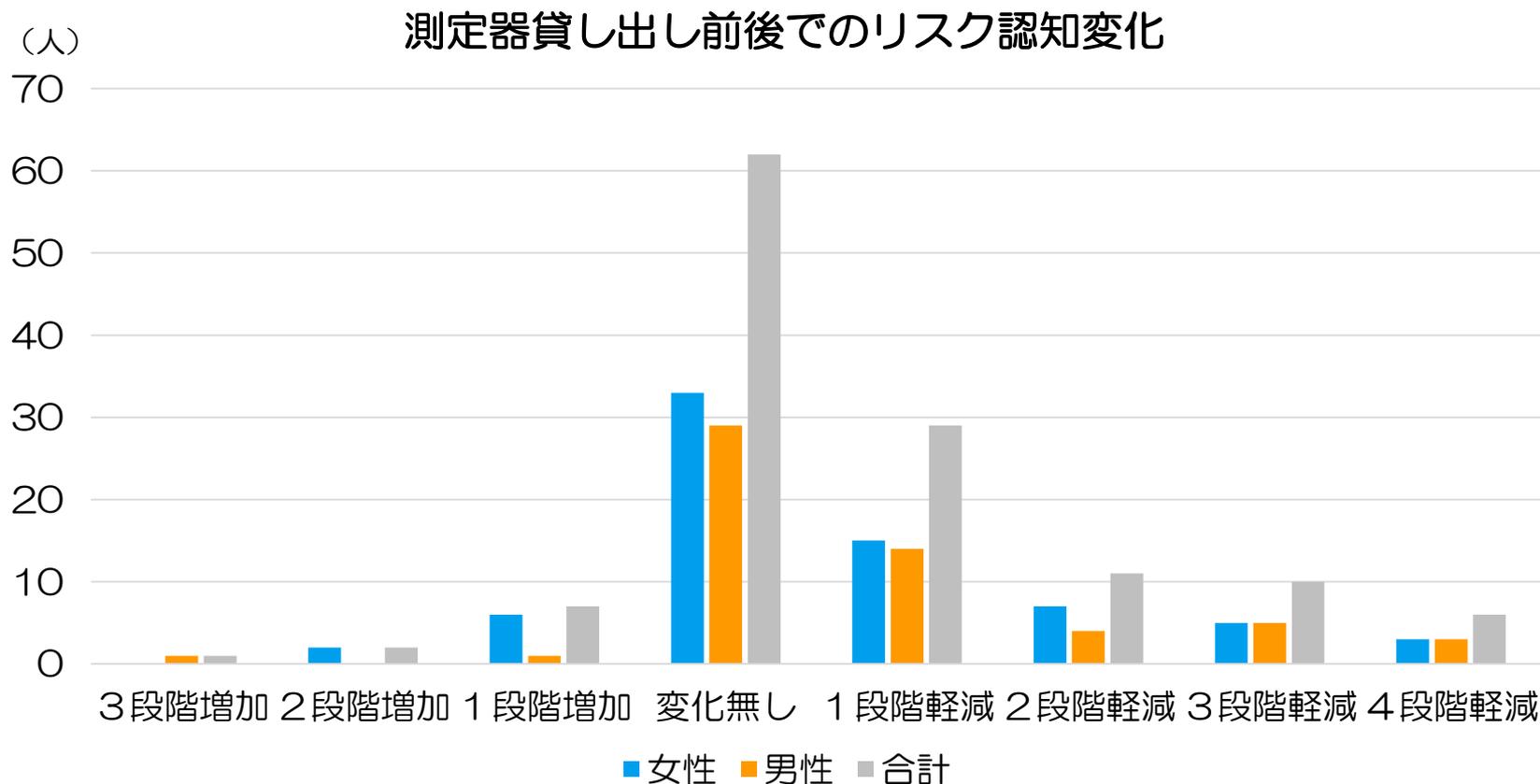
- 60代までは平均点が高い。特に、20-30代は知識量が多い。

	平均点（10点満点）
本人への健康影響等	4.15
家・土地の購入	4.88
電磁過敏症	4.46
妊婦・子ども	5.03
電磁波攻撃	5.26
その他	4.67
総計	4.60

- 電磁波攻撃を測定したい方、妊婦や子供への影響が不安という方は、知識量が多い。

測定前後の心配度変化 (H27.4~H28.2上旬貸出分)

- ・測定前後に電磁界の心配度を『1心配、2どちらかといえは心配、3どちらともいえない、4それほど心配でない、5全く心配でない』の5段階で自己評価。
- ・”測定後の心配度”と”測定前の心配度”の差をとり、測定前後で心配度がどのように変化したかを確認。



測定前に『5全く心配でない』を選んだ方とアンケート未記載の方の計18データは除いた

まとめ

- 貸出の申込者は女性の方が多い。
- 自身の健康影響など気になる方が約1/3。
- 家・土地の購入をきっかけに、近くに電力設備があり気になって申込まれる方が多い。特に30代に多い。
- 妊婦であったり、子供への影響を心配されている30-40代女性の申込も多い。
- 電磁過敏症である、電磁波攻撃を確認したいという方は女性に多い。年齢に偏りは無い。
- 電磁界に関する科学的知識は60代まで平均点が多い。
- 電磁波攻撃を受けていると考えている人や妊婦であったり子どもがいる方は、科学的知識の平均点が多く、いろいろと情報を調べられていると思われる。
- 測定前後の心配度を比較すると、心配度が減少した方が44%、変わらない方が48%、心配度が増加した方が8%。